

宮城県制150周年記念事業「宮城の魅力発見！」活動報告



## 宮城ガールズトレイル IN 気仙沼大島

宮城学院女子大学

「MGUトレジャーハンター」

老山晴菜 佐々木優花 庄司莉華 前田紗弥芳

### 気仙沼大島の現状の課題と問題点

①気仙沼市内で一番年少人口や生産年齢人口が少ない

→気仙沼大島の魅力を若者に発信する人が少ない

気仙沼大島の観光の未来の担い手が少ない

②気仙沼市の観光客数の8割以上が30代以上

→若者(10代20代)の観光客数が全体の1割しかない

## 企画発案の理由

私たちと同世代の女性があまり大島に旅行に行っているのを見たことがほぼないことから、大島の魅力に気づいていない同世代の観光客や県民が多いと感じたこと。気仙沼市が考案している既存のツアーは、若者女性に刺さる観光プランではないと感じたこと。

この二つの理由から、女子大学生から見た**若者女性たちが気仙沼大島のファンになってしまうようなツアー**を作成したいと考えたから。

## 活動実施目的

- ・ **気仙沼大島の女性ファン獲得** ・ 若者女性の気仙沼大島の観光客の獲得
- ・ 気仙沼大島で観光まちづくりをする若者の人材獲得の可能性を考える
- ・ 若者移住者獲得の可能性づくり
- ・ 今回の私たちの提案したツアーの誘客イベントの可能性

## メンバー・グループの紹介 協働事業者・支援者

### 宮城学院女子大学 MGUトレジャーハンター

- リーダー：前田紗弥芳
- 広報：庄司莉華
- 会計：老山晴菜 佐々木優花
  
- 指導教員：宮原育子教授

### 協働事業者・支援者

- 気仙沼観光協会旅行事業課 課長：畠山雅英様・神山様
- 気仙沼市観光協会大島支部：村上様
- 株式会社 丸和 代表取締役社長：尾形長治様
- Oshima Paddle Club 大島の自然を守る会 代表：小野寺隆太様

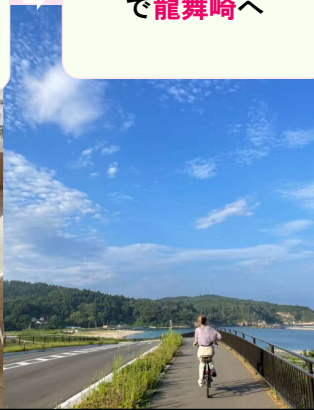
## フィールドワーク1回目（8月23日～24日）

### 【1日目：8月23日】

- 気仙沼市観光協会  
大島支部 村上様から
- ・大島についての説明
  - ・作成したコースの確認



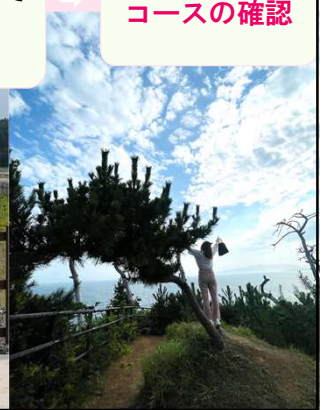
レンタルサイクル  
で龍舞崎へ



帰り道に  
小田の浜海水浴場で  
SNS用の撮影



各ポイントで  
コースの確認



### 【2日目：8月24日】

「CAFÉ & MUSIC 十字路」に  
行くチーム

- ・2022年7月31日にオープンしたばかり
- ・以前はキッチンカーで営業していたが、震災以降「景色の良いこの場所に何も無いのは勿体ないという」思いから店舗を開店
- ・心地よい音楽を聴きながら ゆっくりできるカフェ
- ・木のぬくもり溢れる魅力的な空間
- ・田中浜や空の景色を感じながら過ごせる

徒歩で「小田の浜」まで  
行くチーム

- ・自転車での移動と徒歩での移動とで距離感・時間の体感がどのように異なるのかを調査
- 電動自転車：5～10分  
徒歩：20～30分
- ・歩けなくはない距離感だったけど暑い日だと上り坂がきつく感じた
- ・自然や風を感じながら歩けるのはとても気持ちよかった



## フィールドワーク 2回目（9月4日～5日）

【1日目：9月4日】

『KISSAKO風カフェ』訪問



徒歩でのコース確認



【2日目：9月5日】

自転車でコース確認をするチームとSUP体験をするチームに分かれて行動し、昼食時に「海鮮ゆう」で合流

自転車でコース確認  
+SNS用の道順動画の撮影  
を行うチーム



Oshima Paddle Clubさん  
ご協力の下、SUPを体験  
をするチーム



「海鮮ゆう」訪問



2チーム合流

## 初！SUP体験 IN小田の浜

- Oshima Paddle Club さんのインストラクター小野寺様に教えていただきながら人生初のSUP体験
- 大自然満喫できるためとても気持ちがいい！
- 無人島まで行くという貴重な体験もできる！
- 体幹を鍛えることができるため女性に嬉しいダイエット効果も期待できる！
- 体験して分かった注意点や用意しておくべきものもを見つけることができた



## 地元の方おすすめの「海鮮ゆう」

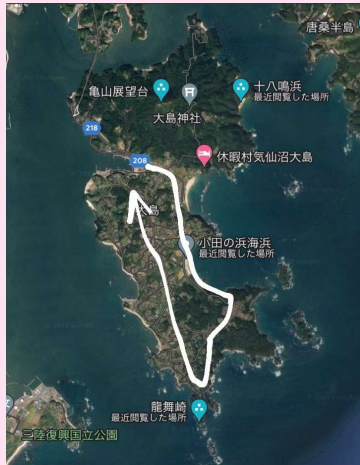
- 海鮮の他に焼肉や定食、ラーメンなど種類豊富なメニューが揃っている
- お手頃価格で美味しく頂ける
- SUP体験の後の昼食として小田の浜から徒歩で約15分程
- 地元の方に愛されているお店

マグロやイカ、サーモン、イクラ、エビ、カニ、アワビがのった豪華な海鮮丼！

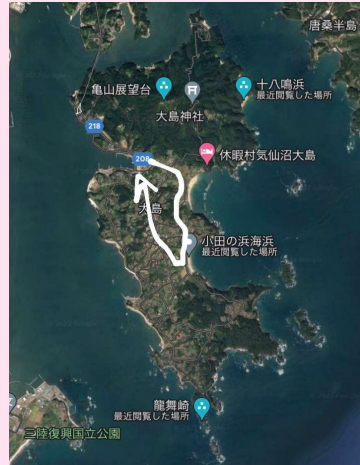


## 活動結果・成果物

Café巡りコース



SUP体験コース



## 最初の企画計画からの変更点

SUPコース

交通機関の問題...  
限られた時間...

CAFÉコース

どちらも楽しんでもらいたい...!

両方を組み合わせた  
**1泊2日のプラン**

## 現地調査を踏まえ、私たちが提案する1泊2日のコース

### 1日目【CAFÉ巡り】

(宮城県仙台市から気仙沼大島へ)

- ①昼食：KISSAKO風カフェ
- ②レンタサイクルで龍舞崎
- ③café&music十字路
- ④大島ウェルカムターミナルへ  
(宿泊は気仙沼市内のホテル)

### 2日目【SUP体験】

(気仙沼市内から大島へ)

- ①SUP体験 in小田の浜
- ②昼食：海鮮ゆう
- ③KISSAKO風カフェで柚子ソフト  
(気仙沼大島から宮城県仙台市へ)

## コースに盛り込めなかった場所

### ・亀山展望台

→気仙沼観光協会の村上様へのヒヤリングより、徒歩でも自転車でも道のりが陰しくコースに組み込むのは厳しいと判断したため。

### ・島波テラス

→地元の方から「9月いっぱい閉店する」と教えていただき、  
他のおすすめのお店をお聞きし「海鮮ゆう」に変更。



## SNSの活動について

- Instagramのストーリー機能を使用し、**フォロワーさんにアンケート調査を実施**。  
大島について知りたいことなどをヒヤリング
- **カフェの方とDMでコンタクト**を取り、  
おすすめのメニューなどをヒヤリング
- **投稿やリール動画で定期的に情報を発信**し、  
大島の魅力を伝える活動を行う
- **ストーリーで投稿の宣伝や**  
**フィールドワークの様子を発信**



## SNSで得られた効果

- **気仙沼市の方からの閲覧・投稿へのいいね**を頂けた  
→**現地の方から評価**を頂けている気がして嬉しかった
- 投稿を保存してくださる方も見受けられた  
(9月29日現在：全体で12回の保存数)
- アカウントを見てくださった方から、  
**「実際に行きたくなった！」**と嬉しいお声を頂けた
- 既存のハッシュタグ検中にガルトレの投稿を残すことができた





## まとめ

- ・ **気仙沼大島の女性ファン及び観光客が獲得できると確信できた**  
→ ・ 私たち女子大生の目線から見ても充分楽しめる要素で溢れており、  
全力で楽しむことができたため。
  - ・ まだ知られていない魅力がたくさんあると感じたため。
- ・ 大島の観光まちづくりをする若者の人材獲得や若者移住者の獲得の期待に関して  
→ この目的に関し、フィールドワークで十分な調査・情報収集するまでに及ばなかった。  
しかし、**若者でも楽しめるようなコンテンツ**（SUPや新店など）を  
提案している方々に出会うことができた。  
ガルトレもその1つになればきっかけを生み出せるかもしれない。
- ・ **ガルトレコースの実現性が高いと感じた**  
→ 具体的な場所・交通手段・時間を明確に提案できるため。
- ・ **確実に宮城の魅力は気仙沼大島にある**

ご清聴ありがとうございました！

